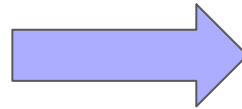


○ **予備戦=>本戦の変更点**

- Index攻撃が禁止された。
- 情報損失(iloss)制約が強化された。
- 評価指標に $\delta=0.01$ が加えられた。

運営の意図
を汲み取る



○ **仮説**

- Index攻撃を抑制
- Swappingによる匿名化が難化
- メンバーシップ攻撃
(precisionやrecall)の対策を重視

【匿名化方針】

匿名化フェーズ

○ **第一匿名化**

1. ユニークではないレコードを全て抽出
2. ユニークなレコードをランダムに抽出
(ユニークの定義はuniqrt.pyによる)

○ **第二匿名化**

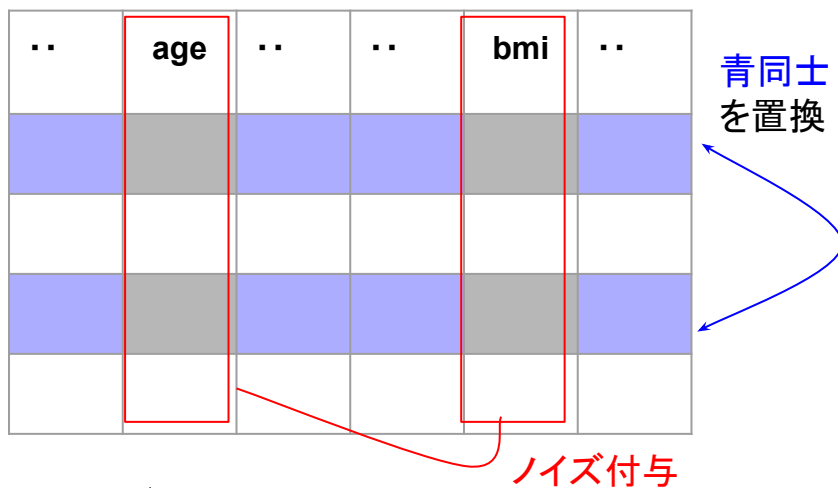
3. ilossに基づいてSwapping
4. age, bmi列にノイズ付与
5. 手動でレコードの値を変更

(1~2: 第一匿名化, 3~5: 第二匿名化)

【Swapping】

全カラムを置換すると、ノイズ付与の際、age, bmi列の $iloss \leq 4$ 条件が難しくなる。そのためカテゴリカル列のみを置換した。

(※ $iloss \leq 4$ の組み合わせの中に限る。)
(※ 有用性ORを満たすようにseedを変えて何度もtryした。)



【ノイズ付与】

age, bmi列にガウスノイズ($N(0, 4)$)を付与。絶対値が4を超える物については ± 4 でclip。ノイズが小さすぎる(絶対値2以下)場合は、元の値 ± 2 の加工を行った。

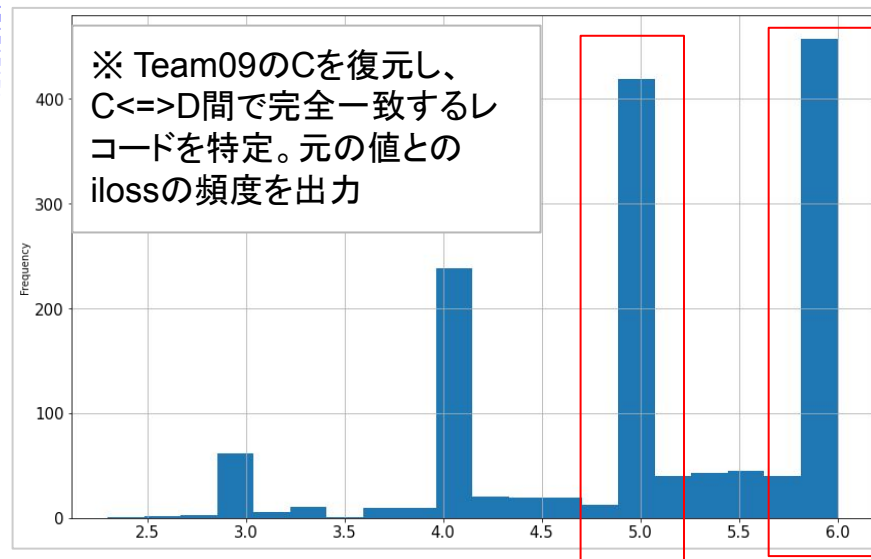
【本戦のBデータ】

mar列のSeparatedという項目が存在しなかった。属性の組み合わせの総数が5/6倍になるため、ユニークではないレコード数が多く有利だった可能性がある。

【予備戦EDA】

攻撃フェーズ

DやXが公開されたチームが、どのようにSwappingを行っているかを調査。



本戦では、 $iloss=4$ となるレコード間でSwappingされる可能性が高い

【攻撃方針】

1. ORPenaltyでメンバーシップ推定
(※ 後述。precision, recall対策)
2. 識別は $iloss=4$ の行からランダム

【ORPenalty】

第二匿名化では有用性ORが大きく変わる変更(eg. White -> Black)が起こりにくい。Bで値を変更した際のOR変化量に基づき、Penalty行列を作成。

gen		race				
		Black	White	Mexican	Other	Hispanic
Female	Female	0.580632	0.000000	0.476799	0.462602	0.269029
	Male	0.000000	0.580632	0.065759	0.140057	0.245440
Male	Female	0.065759	0.476799	0.000000	0.085918	0.109671
	Male	0.140057	0.462602	0.085918	0.000000	0.234719
Hispanic		0.245440	0.269029	0.109671	0.234719	0.000000

Ct<=>D間でORPenaltyが大きい行を-1に。

【識別】

Ctのメンバーと推定された各行に対し、 $iloss=4$ に該当するD内のレコードを抽出。その中からrandomに3件選び、回答とした。